PREMIER ANTI-AGING

News Release

2026 年 11 月 5 日

報道関係者各位

プレミアアンチエイジング株式会社

プレミアアンチエイジングの連結子会社ベネクスが新TVCM「買わせない男」篇を2026年11月7日（土）より放映開始

VENEXブランドパートナーに本田圭佑さんが就任

プレミアアンチエイジング株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：松浦　清、以下「当社」）の連結子会社である休養時専用の「リカバリーウェア」を開発、製造、販売する株式会社ベネクス（所在地：神奈川県厚木市、代表取締役：中村　太一、以下、ベネクス）は、新TVCM「買わせない男」篇を2026年11月7日（土）より放映開始します。CMには、このたび「VENEXブランドパートナー」に就任したプロサッカー選手である本田圭佑さんを起用します。

◆VENEX公式サイト特設ページ：https://store.venex-j.co.jp/page/stop





■起用の理由

本田さんは、サッカー日本代表としての活躍にとどまらず、起業家・投資家など幅広い領域で挑戦を続け、次世代の育成にも情熱を注いできました。2026年には現役復帰を表明するなど、人々を驚かせるチャレンジを重ね、国内外から注目を集めています。

常に自らの限界を更新し続ける本田さんの姿勢と、20年以上にわたり「休養」の可能性を広げることに向き合ってきたベネクスの想いが共鳴し、ともに挑戦するすべての人のパフォーマンス向上に貢献していくことを目指して、パートナーシップを結ぶこととなりました。

■新TVCM「買わせない男」篇、制作の背景

ベネクスは、2010年より「リカバリーウェア」の開発・販売に取り組み、独自開発の素材による製品づくりと、休養に関する研究・啓発を続けてまいりました。近年はリカバリーウェアという言葉が広く知られ、多くの選択肢が生まれた一方で、素材や技術が製品によって異なり、自分に合った製品をどう選べばよいか分からないまま購入し、満足できていない、という声も増えています。こうした状況のなかで、ベネクスは、お客様一人ひとりにリカバリーウェアをじっくり比較・検討いただき、ご自身にとっての“正解の一着”を納得して選んでいただきたいと考えています。

新TVCMでは、休養にも妥協しない本田さんが「リカバリーウェアを、すぐに買わないでください」とまっすぐに語りかけます。選択肢が増えた今だからこそ、20年以上にわたり休養を研究してきたパイオニアとして「きちんと比べて、ご自身にとっての“正解の一着”を選んでほしい」というメッセージを、本田さんらしいストレートな言葉で伝えます。

また、CMの放映開始にあわせて、本田さんのインタビューや撮影の様子を収めたメイキングムービーと、ベネクス代表取締役の中村との特別対談も公開します。インタビューでは、CMのメッセージにちなみ、世界の最前線で戦ってきた本田さん自身の休養観や、日々実践しているリカバリーの習慣について、率直な言葉で語っていただきました。特別対談では、サッカーとビジネスの両方で挑戦を続ける本田さんと、20年以上にわたりリカバリーウェアを開発してきた中村が、経営者同士の目線で語り合います。「すぐに買わないでください」という広告の常識とは逆をいくメッセージを、本田さんはどう受け止めたのか。素材の実物を手にした本田さんが、思わず驚きの声を上げる場面も収めています。

今後も、「VENEXブランドパートナー」の本田さんとともに、本田さんがビジョンディレクターを務めるスポーツアパレルブランド「mgh」とのコラボレーションなど、CM出演にとどまらない取り組みを展開し、休養の重要性とリカバリーウェアの価値を広く発信してまいります。

【CM概要】

●TVCMタイトル

・「買わせない男」篇：https://youtu.be/XtGq0cJjDsc

・「贈らせない男」篇 ：https://youtu.be/VksEDf8fuY0

●WEB CMタイトル

・「STOP！スワイプ」篇　：https://www.youtube.com/shorts/NobwHf4MZig

・「本田、疲労回復中」篇：https://www.youtube.com/shorts/69ySrgDVRTE

●放送開始日

・TV　：2026年11月7日（土）

・TVer：2026年11月5日（木）

・WEB　：2026年11月5日（木）

※「贈らせない男」篇は後日放映開始予定

●放送地域

・TV　：関東

・TVer ：全国

●WEBムービー

・【VENEX】KEISUKE HONDA　単独インタビュー：https://youtu.be/J5wAPfMJZ5I

・【特別対談】KEISUKE HONDA meets VENEX(本田圭佑氏×VENEX代表取締役中村　対談)：https://youtu.be/w5OdTetv-hw

・VENEX TV　新CM「買わせない男」篇　BEHIND THE SCENES：https://youtu.be/Qcga7r_sFpY

●内容

ホイッスルの音とともに逆三角形の「STOP」アイコンが押し出され、その奥からVENEXを着た本田さんが現れ、「リカバリーウェアを買おうとしてる人、すぐに買わないでください」と語りかけます。続けて「衝動買いはよくないですね。逆に買ってないならまだベストを探せる。つまり伸びしろですね。」と、本田さんならではのストレートな言葉で"すぐに選ばない"ことを提案。

ナレーションでは、血行促進・疲労回復をサポートする※1VENEX独自のプラチナ繊維（PHT繊維）※2を紹介します。最後は逆三角形の縁に腰かけた本田さんが、まっすぐカメラに向き合いながら「VENEX！」と力強く言い切り、“正解の一着”を印象づけます。

リカバリーウェアのパイオニアが、あえて「買わせない」と伝える逆説的なメッセージCMです。※3 ※4

※1リチャージプラス【14B3X10040000001】、スタンダードドライプラス【14B3X10040000002】、リカバリームーヴ【14B3X10040000003】（一部製品）、リカバリーデイズ【14B3X10040000004】（一部製品）の一般医療機器届出商品において。一般医療機器「家庭用遠赤外線血行促進用衣」とは、遠赤外線の血行促進作用により疲労や筋肉のこり等の症状の改善を目的とした衣類形状の器具のこと。

※2ナノプラチナなどの鉱物などを含む独自素材『DPV576』を練り込んだPHT繊維。

※3本田圭佑さんがCMで着用しているアイテムは、一般医療機器届出商品ではございません。

※4放送局により、一部表現に変更の可能性がございます。









【撮影エピソード】

撮影は、VENEXのブランドカラーであり、本田さんが所属するFCジュロンのチームカラーでもあるオレンジ色のセットで行いました。撮影を終えた本田さんは「最初、（逆三角形の縁に腰かける際）膝が収まるかなってちょっとビビってたんですけど、なんとかちゃんと枠内にも収まりましたし、求められてるコメントも、いつものCMとはちょっと違って新鮮なコメントばかりで、楽しかったです」と振り返りました。一方で、CM撮影については「割と緊張してる方かもしれないです。サッカーしてるときとかよりは緊張してると思います（笑）。そこまで慣れてるわけではないので。」と明かし、ピッチ上の堂々とした姿とは違う一面をのぞかせました。

【KEISUKE HONDA 単独インタビュー】

Q1. 40代の肉体を維持するために、食事や睡眠、メンタルケアなど、「これだけは絶対に妥協しない」と決めているリカバリー法はありますか？

睡眠と食事ですかね。特に睡眠。マットレスはもちろんですし、理想はできていないことも多いんですけど、お風呂に浸かってから寝ると睡眠の質が上がります。僕の場合は睡眠時間をしっかり確保することにスケジュール管理含めて、自分の中では徹底しているつもりではありますね。

食事に関しては、まだプレーを続けているので、当然身体が動かないとプレーできないので、しっかり朝からバランスのいい食事をとっています。でも、特に40歳になると若いときに比べて代謝が悪くなるので、摂取したい栄養素をとると、今度太りやすくなるわけです。ただ、体重にばかり気を取られてカロリーを下げてしまうと、太らないんですけど今度栄養不足になるので、ここは難しいところです。しっかり運動量も保ちながら、消費していく。こういうことを考えながら食事には気を使っていますね。

Q2. 40代に向けて、さらに突き進む中で描く将来ビジョンについて教えてください。日本代表チームの監督になってほしいという声もありますが、いかがでしょうか？

僕自身の今、目指しているものとしては、サッカーとビジネスの二刀流です。ビジネスは、投資業を10年ほどやっているので、ここを突き詰めて、もっと上を目指してやっていきたいです。

サッカーの方では、選手としてもやれるだけやりたいと思っているんですけど、指導者として、サッカー選手として成し得なかったことを実現したいと思ってやっているので、この指導者として関わっていくということも生涯続いていくだろうなという。この二刀流を今、自分の人生の目標にしてやっています。（監督については）僕自身もやりたいんですけど、また違うインタビューの趣旨になっちゃうので。でも僕自身もやりたいなと思っています。

Q3. 年明けにはアジアカップが控えており、真夏の大会後も所属クラブで戦い続ける選手たちにとって、リカバリー力も重要になると思います。選手たちのリカバリー力について、意識するべきポイントはありますか？

まずリカバリーで一番大切なのは意識の高さだと思っています。一つ一つ、これだけをやっていればリカバリーにつながるとは思っていないので、とにかく意識が高いっていうことが大前提で、良いと思うものは全部やる。それだけ犠牲を払ってトップコンディションを維持しようとすることが偉業を成し遂げると思っていますし、まさに、アスリートたちは日々、いわゆるコンディション調整に向き合っているんだという風に僕は思います。

Q4. 2026-27シーズンからシンガポールで現役選手としてプレーされていますが、シンガポールの若手選手たちに、プレーを通じて伝えていきたいことはありますか？

今僕がクラブでやっていることは、プレーすることもなんですが、それ以上に実は、自分が経験してきたことを伝えることに時間を使っています。それが将来の今僕が所属しているクラブの文化になって、僕がいなくなった後もその文化が引き継がれるということを目標に、今取り組んでやっています。

Q5. CMではリカバリーウェアの購入を一旦ストップすることを呼びかけていますが、本田さんでもなかなかやめられない、ストップできないことはありますか？

いい質問ですね。ありますよね。ありますし、ありましたし。アドレナリン出るような、中毒性のあるようなものがこの世の中、多いんで。でも、仕事関係かな。休みに夜中、起きているときとかは、関係なく携帯も見ちゃうし。だから今日の「スマホばっか見ずに、ちゃんとリカバリーしてください」（※撮影したSNS動画のセリフより「だらだらスマホをスワイプするのはやめて、リカバリーしてください」）っていうのは、僕に対するコメントだなという風に思っていましたね。（笑）

僕、元々ビジネスガンガンやり始める前はゲームが大好きで、結構ゲーマーだったんですけど。サッカーゲームから、スマホになってからもスマホのゲームの中毒性は、凄まじかったですね。今は注意する側に回っていますけど、気持ちはわかってあげられるんで。やめろって言うんじゃなくて、違うことを推奨することで携帯から離れることを促したりとか、アプローチのやり方を工夫する必要はあるかなと思ってますね。

Q6. VENEXは2010年にリカバリーウェアを開発したパイオニアですが、ご自身がパイオニアとしてビジネスを始めたきっかけはありますか？

はい。僕は貧困の子供たちがきっかけでしたね。そこが、この世の中を勉強するきっかけになり、資本主義を勉強するきっかけになり、自分が投資を始めるきっかけでしたね。いわゆるこの経済格差が凄まじいのに対して、違和感というか、疑問を持ち始めたところがスタートでした。

動画URL：https://youtu.be/J5wAPfMJZ5I

【KEISUKE HONDA meets VENEX（本田圭佑氏×VENEX代表取締役中村　対談）】

現役復帰に加えて起業・投資にも挑む本田圭佑さんと、「リカバリーウェア」という言葉を生み、20年以上休養を研究してきたVENEX代表取締役・中村。

挑戦を続ける経営者同士の対談は、本田さんの「リカバリーウェアという言葉が実はVENEXから来てたなんて知らなかった。びっくりしました」という驚きから始まりました。

話題は「7つの休養」や「攻めの休養」へ広がります。旅行で気分が変わる感覚もリカバリーだと知った本田さんは、休養がアスリートだけでなく、ビジネスパーソンの日常にまで広がっていく未来を思い描きます。

また、本田さんが「一番刺さった」と語るのは、『リカバリーウェアを、すぐに買わないでください』というメッセージ。「広告の真逆を行く。それだけ自信がおありなんだな」と、経営者の目線で受け止めます。

さらに、目の前に出されたのは、髪の毛よりはるかに細い繊維に、プラチナなどの鉱物をナノレベルで練り込んだ実物です。本田さんは「ナノすげえ」と目を凝らし、介護用マットから始まった開発ストーリーにも興味津々。

最後は「どのリカバリーウェアを購入するのか、一度検討いただけたら嬉しい」と、CMと同じメッセージで締めくくりました。

動画URL：https://youtu.be/kjkKv88fvYw



【出演者プロフィール】



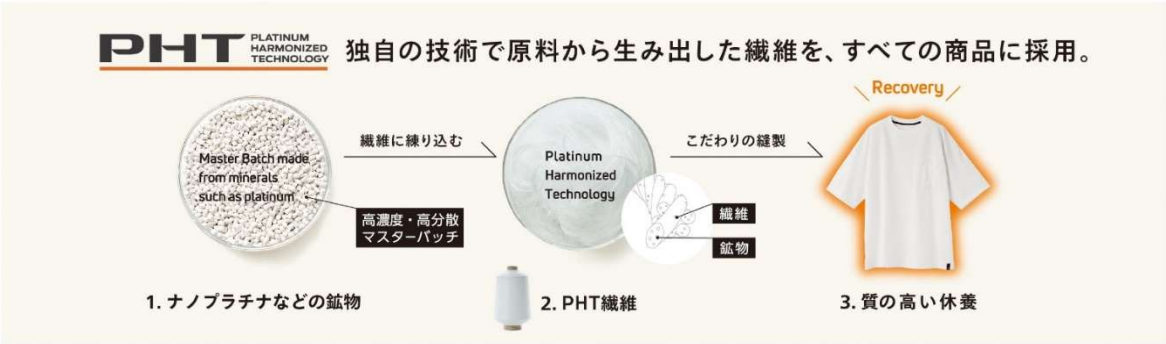
本田圭佑

サッカー選手としてイタリア名門ACミランで10番を付けプレーし、過去3回のワールドカップに出場。世界で6人目となるワールドカップ3大会連続ゴールとアシストの偉業を果たす。指導者としても2018年からカンボジア代表でキャリアをスタートし、監督として“ワールドカップ優勝”を目標に公言する。
ビジネス面ではサッカースクール、プロサッカーチームの経営などに携わりながら、教育事業にも力を入れる。2016年からエンジェル投資活動を開始し、18年にウィル・スミスとともに「Dreamers Fund」の立ち上げを発表し世界を驚かせた。24年には日本のスタートアップ投資に注力するVC「X＆KSK」を設立。

【ベネクスについて】

健康のための3大要素「運動」「栄養」「休養」の中で、パフォーマンスを向上させるために必要な「休養」に着目。主力商品である休養時専用ウェアをはじめとするリカバリーサポート商品の開発、製造、販売、およびリカバリーに関する研究、啓発活動、サービス、開発などを行っています。創業は「床ずれ予防マットレス」を開発、販売する介護用品メーカーとしてスタート。現在は、休養学に基づいたリカバリーに関わる商品開発を行っています。

「ヒトが本来持っている自己回復力を最大限に発揮させること」をコンセプトに、東海大学、神奈川県、ベネクスとの産学公連携事業により誕生したウェアは、エビデンス（科学的根拠）の取得や安全性を重視した開発を行い、「休養時専用ウェア」として2010年2月の発売以降、疲労回復や安眠のサポートを目的として日本代表選手らスポーツ関係者はじめ多くの方に愛用されています。現在は、豊富な商品展開を行い、全国の主要百貨店やオンラインショップで販売。これまでにシリーズ累計260万着（2026年9月時点）の販売実績を記録するヒット商品となっています。



【株式会社ベネクス　概要】

法　人　名：株式会社ベネクス
代　　表：代表取締役　中村　太一
所　在　地：〒243-0018　神奈川県厚木市中町4-4-13　浅岡ビル4階
電　　話：046-200-9288
設　立　日：2005年9月30日
事業内容：リカバリーサポート商品の開発、製造、販売
　　リカバリーに関する研究、啓発活動、サービス、開発など
企業 ＨＰ：https://www.venex-j.co.jp/

【プレミアアンチエイジング株式会社　会社概要】

　当社は、「Forever vivid　人の時間（とき）を、解き放つ。」という企業理念のもと、アンチエイジングの力ですべての人を年齢から解き放ち、誰もがいつでも輝ける未来の実現を目指し、スキンケア事業、そしてリカバリー事業へと事業を拡大しています。

本　　社：東京都港区虎ノ門 2-6-1
設 立 日：2009 年 12 月
事業内容：化粧品・健康食品及びリカバリーウェアの企画、開発、輸出入、通信販売、卸及び小売業務
企業 ＨＰ：https://www.p-antiaging.co.jp/

「OUR STORY」
代表取締役社長　松浦　清の創業からの想いや
企業として目指すところをステークホルダーの皆さまに
お伝えするメッセージとして公開しています。
https://www.p-antiaging.co.jp/ja/company/story.html



「Skin for Longevity（スキン・フォー・ロンジェビティ）」
2026 年 7 月発表。肌を整えることは、自分らしく輝く時間を永く重ねるための基盤。
当社はこの「Skin for Longevity」の実現のために、これまで以上にお客様と深く長く繋がり続け、
お客様の「スキンケア・ライフ」全般でお役に立てるよう、スキンケア領域への本格展開を加速します。
https://www.p-antiaging.co.jp/ja/company/SkinforLongevity.html